

藤崎 晃さんの「来し方を振り返り」について

今回の卒業60周年記念誌の発送に合わせ、記念誌の感想を寄せていただくために、受取人払いのハガキを同送しました。

藤崎さんからのハガキの文末に、

「(追記) 私の原稿が字数制限 OVER だったのか、途中で切れており少々残念に思いました。」とありました。

原稿を途中でカットするようなことはしていないはずですが、藤崎さんの文を読み返してみました。文中三人の友人を紹介するはずが、二人しか登場しておりません。原稿の欠落が判明しましたが、それまで10回に及ぶ校正会議で、だれも欠落に気がつきませんでした。校正会議では字句の校正に気をとられ、「木を見て森を見ず」状態だったと思います。

百瀬編集委員から藤崎さんに全文を問い合わせするなど大変なご迷惑をお掛けしました。結果的には編集委員の中で欠落部分はみつかりましたが、たいへん大きなミスでした。

記念誌には6月末現在で60人を超える方々から、絶賛の声が寄せられました。大きな反省点です。

藤崎さんには大変なご迷惑をお掛けしました事、深くお詫びします。

同封いたしました藤崎 晃さんの「来し方を振り返り」を記念誌の70ページに挟み込んでお読みください。

皆様方にはお手数をお掛けしますが、よろしく申し上げます。

あきつ会事務局 金岩博司